

平成24年度「東南アジア青年の船」事業 日本・ASEANユースリーダーズサミット参加者募集

1. 概要

平成24年度「東南アジア青年の船」事業日本国内活動の中で「日本・ASEANユースリーダーズサミット」を実施します。

「日本・ASEANユースリーダーズサミット」では、日本とASEAN各国及びASEAN各国相互の連携を強化するために、より多くの青年が日本とASEAN諸国を結ぶネットワークに参加することを目的として、駐日ASEAN各国大使館及び日本アセアンセンター（予定）と連携し、ディスカッション及び文化交流を中心とした合宿型プログラムを行います。

2. 募集について

4日間の全日程に参加可能で、東南アジア諸国の青年との交流に関心があり、ディスカッションに参加できる英語力のある方を募集します。参加費は無料です。

詳細は、平成24年7月以降にお知らせする予定です。



フィリピン参加青年による文化紹介パフォーマンス



参加青年と懇談される秋篠宮妃殿下

平成24年度は事業内容を見直しました

1. 概要

平成24年度の「世界青年の船」事業は、日本参加青年と世界10か国からの参加青年が、9日間東京で事前研修を行った後に、船内での共同生活と日本国内3か所での寄港地活動を含む19日間の船上プログラムを行います。その後、日本参加青年のみ、8日間の日程で、参加国の一つを航空機で訪問します。

2. 主な日程

- ・出航前研修には、外国青年が1月28日(月)から合流します。
- ・日本青年と外国青年が、船内で共同生活と交流プログラムを行います。コース別のディスカッションを中心として学びを深めるとともに、文化紹介やクラブ活動などを通じて、また、船内という空間をいかし、外国青年との内容の濃い交流を行います。
- ・各寄港地では、その特色をいかしながら、課題別視察や地域の青年と文化交流などを行う予定です。
- ・日本青年は、ディスカッションのテーマごとに5つのグループに分かれ、各グループが参加国の一つを訪問します。訪問国では、現地青年とのディスカッション、課題別視察、ホームステイ、表敬訪問などを行う予定です。

3. 見直しの考え方

平成23年度までの「世界青年の船」事業からは、寄港地を外国から日本国内にする、航海終了後に外国派遣を行うこととするなど、内容を大幅に見直しました。これは、①多様な外国青年との船内での濃密な交流という醍醐味を引き続き重視しつつ、②コース別ディスカッションやテーマごとの外国訪問を通じた課題への学びを深めることに力点を置き、③日本国内の寄港地で日本の多様性や魅力を学ぶ（寄港地から発信する）工夫を行い、④日本参加青年がより充実した外国訪問を行えるようにするとともに、訪問国との双方向の交流を強化することをねらったものです。

日本青年の主な日程

平成25年 1月26日(土)～2月3日(日)	出航前研修 (9日間)
2月4日(月)～2月22日(金)	航海(19日間) 途中、寄港地活動
2月22日(金)～3月1日(金)	外国訪問(8日間)
3月1日(金)～3月3日(日)	帰国後研修(3日間)



内閣府青年国際交流事業 参加後の国際的活動

内閣府青年国際交流事業に参加した青年は、日本青年国際交流機構（通称：IYEO ※日本参加青年の事後活動組織）に入会した後、国内での活動に取り組むとともに国際的なネットワークを活用し、様々な事後活動を行います。

ここでは、「東南アジア青年の船」事業と「世界青年の船」事業の各国事後活動組織の国際連携組織がそれぞれに年一回開催している総会について紹介します。



「東南アジア青年の船」事業総会 (SIGA: SSEAYP International General Assembly)

SSEAYP International(SI)は、ASEAN6か国の事後活動組織と日本青年国際交流機構によって1987年に結成された国際的連携組織で、現在はミャンマーを除く9か国との組織になっています。SIGAは、SSEAYP Internationalが年1回開催している総会であり、1988年にマレーシアで第1回が開催されて以来、ほぼ毎年、SSEAYPインターナショナル加盟各国事後活動組織の持ち回りで開催されます。「東南アジア青年の船」事業だけでなく、「青年の船」「世界青年の船」「国際青年育成交流」事業などの既参加者やその家族・友人も含め、多くの方が参加できるのが特徴です。



SSEAYPインターナショナル賞の各国表彰者と(中央左から)キティ・サマンタイ タイ政府福祉振興及び社会的弱者の保護・自立局長、ウィタヤ・ピウボン アユタヤ県知事、小町恭士在タイ日本国大使、ソムトン・パンチャレーンウオラケン アユタヤ県行政機構会長

第24回総会 (SIGA) in 日本のお知らせ

2012年4月25日(水)から28日(土)に東京でSIGAが開催されます。テーマは、「SSEAYP International Together, Move Forward」(SSEAYPインターナショナル共に進もう)です。

《問合せ先》

日本青年国際交流機構(IYEO) SIGA Japan係
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-35-14
東京海苔会館6階

Tel: 03-3249-0767 Fax: 03-3639-2436 E-Mail: siga@iyeo.or.jp
URL: www.centerye.org/event/2012/siga2012/

プログラム(案)

4月25日(水)	参加者来日
4月26日(木)	総会(各国事後活動組織より活動報告)、 歓迎昼食会、SI 25周年記念フォーラム
4月27日(金)	晴海港でのふじ丸船内見学 課題別視察(社会貢献、人材の発掘・活用、 人的交流の促進、生活・地域デザイン)等 フェアウェルパーティー
4月28日(土)	参加者帰国



「世界青年の船」事後活動組織 (SWYAA) 国際大会 (通称：グローバル・アセンブリー)

1995年から11回開催したインターナショナル・リユニオンを、平成19年度からはSWYAA国際大会(グローバル・アセンブリー)に名称を変え、事後活動組織の活動が活発な国で年1回実施しています。この大会では、社会的な貢献活動を地域若しくは世界規模で推進し、またそのような活動を達成するための方策を協議する「事後活動協議会」を開催し、各国の事後活動の状況を集約し、「世界青年の船」事業の成果を総括します。

「世界青年の船」事後活動組織 www.swyaa.org

第5回SWYAA国際大会の報告

2011年9月28日から10月2日にメキシコ合衆国のメキシコシティで開催され、15か国から約70名が参加しました。メキシコ政府高官や在メキシコ合衆国日本大使館の目賀田大使に開会式でご挨拶いただいたほか、メキシコ政府主催の歓迎会や著名な連邦議会議員とのディスカッションを行い、参加者は、事後活動協議会で具体的な活動について話し合い、事業で培った絆や今後の活動の発展を深く認識することができました。また、ルチャ・リブレ(メキシカン・プロレス)観戦やガリバルディ(マリアッチの演奏)、世界遺産のティオティワカンのピラミッドやソチミルコの訪問など、メキシコの文化を学び、満喫できる充実した5日間でした。



第5回SWYAA国際大会開会式(メキシコ)
(左から)メキシコ青少年協会最高責任者Carreon氏、
メキシコ外務省Xilotti大使、内閣府吉田参事官補佐、
大河原IYEO会長、Watanabe大会委員長)



第5回SWYAA国際大会の参加者

世界遺産ティオティワカンのピラミッドで遺跡についての説明を聞く